

幻覺 知覺が病的になり實際ありとせぬものを見たり聞いたり觸れたりする事を言ふ

四四

幻滅 まだ世の中を知らぬ少年が夢見る様に理想と空想を抱き居つたが現實に目醒め其幻影がすつかり消れてなくなつて了つたその状態を幻滅と言ふ

肯定 否定の反對

後天的 先天的に相對する生れてから後に得た事

功利説 功利とは役に立つたためになるといふ意で功利説とは人の行爲の善惡を區別するのは其行爲が功利的であるか否かを以てする考へ方を言ふ

國家社會主義 雜と社會政策と同じ個人主義 個人の利益のみを謀りて社會とか國家とかを反り見ぬ傾向

根調 主調 キイノート 基調 ゴシツプ 無駄話

コスモポリタニズム 世界主義
コスモポリタン 世界主義者

コメディイ 喜劇

コンスタント 永久的

コンストラクション 組立構造

コンデイション 條件 境遇

コンテンツ 目次 内容

コンミツション 手数料

コンミユニズム 共産主義

コンモンセンス 常識

コーラス 合唱

サイエンス 科學

サイン 記號

サークル 圓 黨派

自我實現論 出來得る限り自己を發達させて行く事を人生の目的とする學説である

四五